東洋シヤッター株式会社
本　　社　〒542－0081　大阪府大阪市中央区南船場2-3-2　南船場ハートビル　TEL06-4705-2110
東京本社　〒103－0002　東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5　日本橋K ビル　TEL03-3639-0551

2026 年 11月 18日

止水ドア・防音ドアに対震仕様を追加

止水・防音性能と地震時の避難安全性を両立

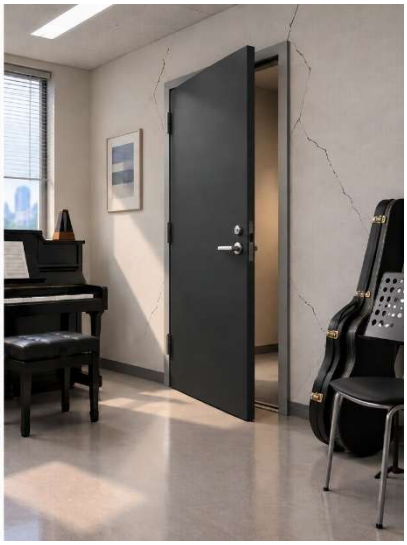
東洋シヤッター株式会社(本社:大阪府大阪市中央区/代表取締役 岡田 敏夫)は、止水ドア「TSウォータータイト」および防音ドア「TSレバータイト」に、新たにD-3等級の対震仕様を追加し、2026年12月16日より販売を開始します。

近年、地震や豪雨などの自然災害への備えがこれまで以上に求められる中、建物の出入口には、それぞれの用途に応じた機能性だけでなく、地震発生時の避難安全性も求められています。

今回の対震仕様追加により、「TSウォータータイト」では止水・防火・対震、「TSレバータイト」では防音・防火・対震という複数の性能を両立。平常時に求められる機能を維持しながら、地震時の安全性にも配慮した製品提案が可能となります。



TSウォータータイト



TSレバータイト

【対震性能】

両製品とも、対震性能はJIS A 1521:2018における、D-3等級(面内変形角1/120rad)に対応します。

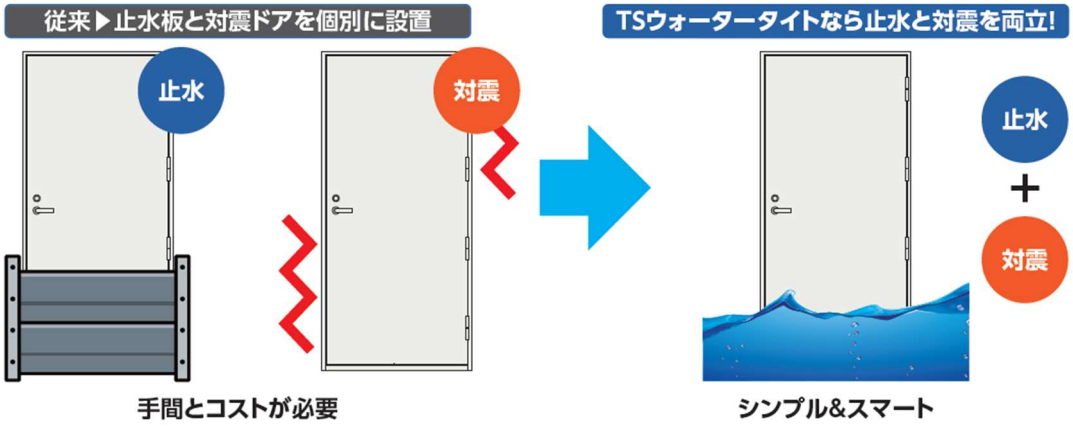
※JIS A 1521:2018は地震などによって建物が変形した際にも、一定の面内変形に対して扉を開放できる性能を示すものです。

(参考)

等級	面内変形角	性能
D-1	1/300rad	変形後も開放可能
D-2	1/150rad	変形後も開放可能
D-3	1/120rad	より大きな変形後も開放可能

【TSウォータータイト】

従来の止水ドアは、地震による枠の変形時により開閉へ影響を受ける可能性があるため、避難経路では対震ドアと水防板を組み合わせて運用されるケースが多く見られました。その結果、水防板の保管・搬出・設置作業や、豪雨時の作業負担と安全面の課題が生じていました。「TSウォータータイト」に対震仕様を追加したことで、止水と対震を1つのドアで両立できます。これにより、水防板に頼らない運用が可能となり、設置作業の負担軽減と緊急時の避難安全性の向上に貢献します。



※面内変形時も扉は止水状態となりますが、
地震後の止水性能は対象外となります。

仕様一覧

納まり	止水高さ	サイズ(mm)		金物		止水性能※	JIS A 4716等級	気密性能	水密性能	耐風圧性能	遮音等級	防火性能
		幅W	高さH	吊り金物	錠・ハンドル							
片開き	3m	750~900	1800~2400	面付丁番	止水錠SLタイプ	0.02㎥/h・㎡(20ﾘｯﾄﾙ/h・㎡)	Ws-3	A-4	W-4	S-5	T-2	特定防火設備
両開き		1500~1800				0.1㎥/h・㎡(100ﾘｯﾄﾙ/h・㎡)	Ws-1					

※止水性能は静水圧の実験値を基にした設定値であり、保証値ではありません。(地震時の止水性能は対象外)

【TSレバータイト】

従来の防音ドアは高い遮音性能を確保する一方で、地震時の安全性への配慮が求められる施設では、防音性能と避難安全性の両立が課題となっていました。

今回、「TSレバータイト」にD-3等級の対震仕様を追加したことで、防音・防火性能を保有しながら、地震時の避難安全性にも配慮した扉の提案が可能となります。

仕様一覧

納まり	サイズ(mm) ※			遮音等級 JIS A 4702	気密性能	防火性能
	幅 W	高さ H	扉厚			
片開き	750~1100	1800~2400	40	T-2～T-4	A-4	特定防火設備
両開き	1500~2200	1800~2400				

※使用する吊金物によって設計範囲に制限があります。

【発売時期】

2026年12月16日

以上